

# 新規事業採択時評価

## 【河川事業】

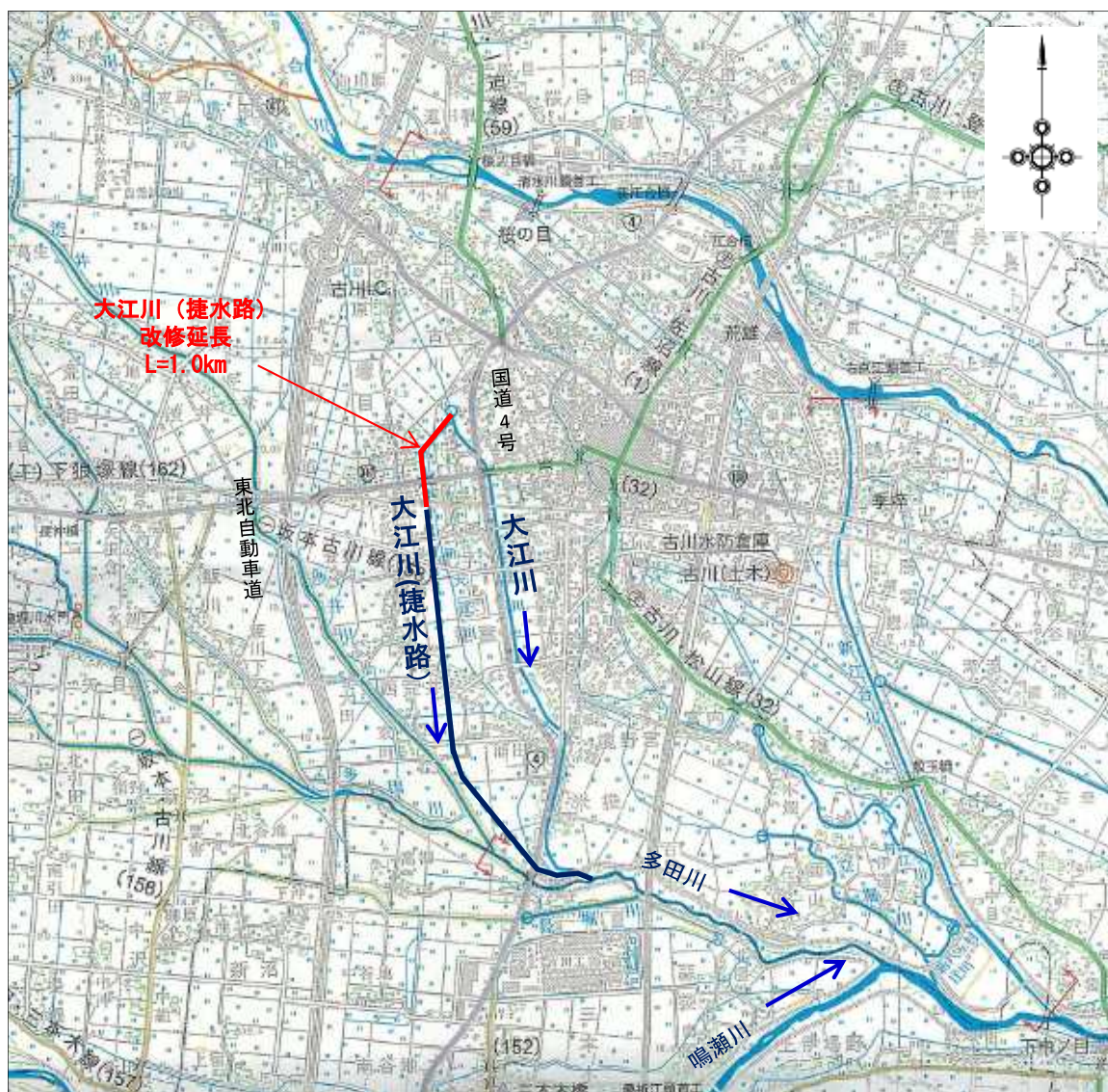
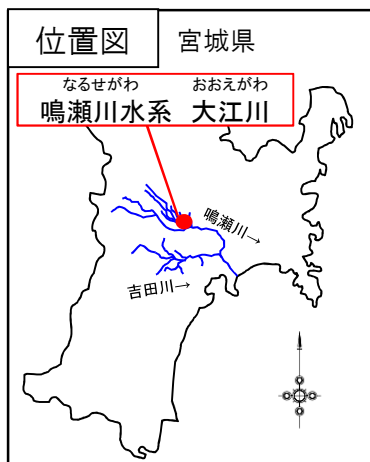
(補助事業等)

- 大江川床上浸水対策特別緊急事業 . . . . . 1
- 小藪川床上浸水対策特別緊急事業 . . . . . 3

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大江川床上浸水対策特別緊急事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 大西 亘	事業 主体	宮城県																
実施箇所	宮城県大崎市																					
主な事業 の諸元	築堤、河道掘削、橋梁架替 等																					
事業期間	事業採択	平成28年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	26																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大江川は市街地を貫流しており、現況流下能力が低く、浸水被害が頻繁に発生。</li> <li>大江川の流量負担を軽減させるため、捷水路整備に平成9年度より着手し、計画延長L=4.5kmのうち、L=3.5kmまで整備が完了。</li> <li>平成27年9月関東・東北豪雨では、大江川沿いで床上浸水61戸、床下198戸の甚大な被害が発生したことから、捷水路未整備区間L=1.0kmについて早急に整備を進める必要がある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>捷水路未整備区間L=1.0kmの整備を完了し、大江川本川への流量負担軽減を図る。</li> <li>平成27年9月関東・東北豪雨と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策目標: 水害等災害による被害の軽減</li> <li>施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する。</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数: 144戸 年平均浸水軽減面積: 9.4ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	206	C:総費用(億円)	26	B/C	7.9	B-C	180	EIRR (%)	39.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業 (B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費 (+10%~-10%)</td> <td>7.3</td> <td>~ 8.7</td> </tr> <tr> <td>残工期 (+10%~-10%)</td> <td>7.9</td> <td>~ 7.9</td> </tr> <tr> <td>資産 (-10%~+10%)</td> <td>7.2</td> <td>~ 8.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業 (B/C)		残事業費 (+10%~-10%)	7.3	~ 8.7	残工期 (+10%~-10%)	7.9	~ 7.9	資産 (-10%~+10%)	7.2	~ 8.7
	全体事業 (B/C)																					
残事業費 (+10%~-10%)	7.3	~ 8.7																				
残工期 (+10%~-10%)	7.9	~ 7.9																				
資産 (-10%~+10%)	7.2	~ 8.7																				
事業の効 果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>捷水路未整備区間L=1.0kmの整備を完了し、大江川本川への流量負担軽減を図る。</li> <li>平成27年9月関東・東北豪雨と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。</li> </ul>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成28年2月に学識者懇談会を開催しており、県が今後計画している捷水路未整備区間の整備については妥当という意見を得ている。																					

# 大江川床上浸水対策特別緊急事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	小藪川床上浸水対策特別緊急事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 大西 亘	事業 主体	栃木県																
実施箇所	栃木県鹿沼市																					
主な事業 の諸元	河道掘削、橋梁架替 等																					
事業期間	事業採択	平成28年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	25																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河道断面が不十分であり、現況流下能力が低く、浸水被害が頻繁に発生している。</li> <li>・平成25年7月27日(浸水戸数63戸)及び平成27年9月9日(浸水戸数103戸)に、甚大な浸水被害が発生している。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削・護岸整備等の実施により、河道断面を確保し、同時にネックとなる橋梁の架替を実施して流下能力の向上を図る。</li> <li>・平成27年9月関東・東北豪雨と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等災害による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:93戸 年平均浸水軽減面積:4.7ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	159	C:総費用(億円)	25	B/C	6.5	B-C	134	EIRR (%)	32.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.9</td> <td>~ 7.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.4</td> <td>~ 6.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.8</td> <td>~ 7.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.9	~ 7.2	残工期(+10%~-10%)	6.4	~ 6.5	資産(-10%~+10%)	5.8	~ 7.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	5.9	~ 7.2																				
残工期(+10%~-10%)	6.4	~ 6.5																				
資産(-10%~+10%)	5.8	~ 7.1																				
事業の効 果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削・護岸整備等の実施により、河道断面を確保し、同時にネックとなる橋梁の架替を実施して流下能力の向上を図る。</li> <li>・平成27年9月関東・東北豪雨と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。</li> </ul>																					
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年2月24日に開催した「第2回栃木県河川整備計画懇談会」において、「本計画での河川改修により、関東・東北豪雨に対する浸水被害の解消が見込まれることから、早期整備を図られたい。」旨の意見あり。</li> </ul>																					

# 事業位置図

